

平成 19 年 10 月 20 日発行 神内医ニュース 59 号 事業委員会報告

神奈川県肝炎対策委員会

委員長 岡 正直

わが国において多くの HCV 陽性慢性肝炎患者が発癌の時期に達し、この数年間肝臓症例は急速に増加しています。日本人の癌による死亡の順位では肺、胃に次いで肝臓が第3位となりました。毎年約 3 万人の肝臓による死亡者の 80%は C 型慢性肝炎・肝硬変を背景としたもので、臨床の現場におきまして慢性肝炎と肝硬変・肝臓の知識の啓蒙と病診連携の推進は、ますます重要なものとなっています。

2004 年に神奈川県立がんセンター顧問多羅尾和郎先生と神奈川県内科医学会会長中山脩郎先生を代表世話人とする「肝がん撲滅を目指す病診連携の会」を発足いたしました。世話人として県下主要大学および病院の先生がたと当肝炎対策委員を加え、神奈川県下の 5 つの地区を持ち回りで講演会を実施しています。2006 年 6 月に、相模原での第 5 回をもって神奈川県下全地区での講演会開催を達成しました。その後 2006 年 8 月より多羅尾和郎先生も新しく肝炎対策委員として参加していただき、また新しい共催メーカーの参加もいただいて再び第 1 地区よりスタートです。2007 年 6 月 16 日(土曜日 16:45-20:00)、横浜駅東口崎陽軒 6F にて第 6 回の講演会が行われました。

一般演題では、「病診連携が役に立った大きな肝がんの治療」のテーマの下、済生会横浜市南部病院 高橋裕先生、また横浜市立大学附属市民総合医療センター 森本学先生と沼田和司先生より、最先端の肝がん治療の実例についてのご講演をいただきました。特別講演 1 は神奈川県立がんセンター元所長 多羅尾和郎先生に「C 型肝硬変症の肝臓がんにおける持続炎症の役割」として、長年の臨床経験に基づいた漢方薬なども含めた多剤併用療法の工夫により、いかに発癌率を低下させうるかというご講演を、また特別講演 2 は横浜市立大学附属市民総合医療センター院長 田中克明先生に「肝細胞癌に対する内科的治療と将来の展望」として、従来の治療方法から最先端の治療方法まで豊富なデータをお示しいただきながらわかりやすくご講演をいただきました。

大変内容が濃く長時間の会であったにもかかわらずフロアからも活発な討議があり、有意義な講演会だったと思います。今回から講演会の内容のエッセンスを簡単にまとめたニュースレターを新しく発行し、惜しくも参加できなかった先生方のお手元にお届けできるようにと計画しています。

次回第 7 回は 2007 年 12 月 1 日(土曜日)に川崎にて開催の予定です。多くの先生方のご参加をお願い申し上げます。今後の課題としては、いかにより多くの方に講演会へ参加していただくかという点であり、肝炎対策委員や「病診連携の会」世話人の先生方のみならず、地区会長の先生方のご協力もいただければ幸いに存じます。

また、2006 年 6 月に開設したウェブサイト(<http://medical.direct.ne.jp/hepat/>)においても、当委員会の活動の詳細を載せておりますので是非ご覧ください。

第 1 回 2004 年 6 月 26 日(土)新横浜グレイスホテル[第 1 地区]

第 2 回 2004 年 11 月 20 日(土)ホテル・ザエルシー[第 2 地区]

第 3 回 2005 年 6 月 18 日(土)横須賀プリンスホテル[第 3 地区]

第 4 回 2005 年 11 月 19 日(土)JR 平塚駅 LUSCA ホール[第 4 地区]

第 5 回 2006 年 6 月 17 日(土)相模原南メディカルセンター[第 5 地区]

第 6 回 2007 年 6 月 16 日(土)横浜駅東口崎陽軒本店[第 1 地区]